

安全・取り扱いに関するご注意 必ず、お読みください

製品を安全にご使用頂くには、正しい方法による取り付け、結線が必要です。

本書、並びに本製品を取り付ける車両の取扱説明書に示されている、安全に関する注意事項を良くお読みになり、十分に理解された上でご使用ください。

本書では、本製品を誤った方法で取付や使用した時に、人や物へ損害を与えることが想定される場合や、本製品を正しくご使用頂く上で重要な事項を、下記の表記を用いて説明しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、生命への危機、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合、本製品だけでなく、障害を負う危険性や 車両や設備の破損・故障につながる恐れがある内容を示して

警告

・取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理してください。自動車、原動機付自転車は、誤った扱い方をすると、思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。

・エンジンを始動する時は、屋外または窓を開け、換気扇などを回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で作業してください。締め切った車庫や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。

・エンジン停止直後は、絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後は、エンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。また、本体も発熱しますので冷えてから作業をいして下さい。

・本製品は車両電源がDC12V 専で車体（ボディー）マイナスアース車用です。DC24V 車には使用出来ません。故障、火災の原因になります。また本製品は小さなバッテリーです配線のショートには十分注意してください 脱着時には必ず説明書に従ってください

・本製品は非常に高温になるエンジン、排気管、マフラー付近や 水が直接かかる場所には取り付けしないでください。なお、誤配線にも十分注意してください 感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因になります

・本製品の取り付けは 本体、配線類を確実に固定し、電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損や感電の原因となります。また、回転部分や可動部分に接触しないようにしてください。

・本製品の取り付け、配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、感電に注意し慎重に作業をしてください。

・本製品に異音、異臭、発煙や作動不良などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または当店までお問い合わせください。そのまま使用すると、感電や火災、車体、エンジン、電装部品の破損の原因となります。

・本製品の加工、分解、改造などは一切行わないでください。火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工、分解、改造等の形跡が見られる場合、クレーム、修理の対象外とし、車両および電装品の故障や事故が発生した場合でも、当店では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

注意

・本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えたり、装着時に無理な力を加えないでください。動作不良を起こし、製品の故障や車両を破損する恐れがあります。

・安全のため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外してください。外さずに作業をするとショートする恐れがあります。なお、バッテリーのマイナス端子を外す前に、車両取扱説明書またはディーラー等で外し方を確認してください。車両搭載装置に影響が有る場合があります

・装着車両に、本製品以外に本製品同様のシステムを搭載した製品との併用を行った場合には、本製品の故障や車両の不具合が発生する可能性がございます。この場合、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

・取り付け作業のために一時的に取り外す部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。弊社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。

・事故防止の為、各コネクタ、ボルト、ナットの緩みが無いか運行前点検時と合わせて点検して下さい。取り付け部やコネクタ等にガタがある場合は速やかに増し締め等を行って下さい。

・本製品を車両に不具合があるための修理目的に使用しないでください 整備された正常に運転できる車両用です

EDLCdynamite（バイク用）の結線、取付方法と注意事項 暫定版

EDLCdynamite は小さなバッテリーです プラス、マイナスのショートには十分注意してください 故障、異常な発熱、発火等の可能性もあり大変危険です。 内部は防水防振のためシリコンで埋めてあります 蓋も液体パッキンで防水処理しておりますので 分解出来ません 完全な防水では有りませんので 水の掛かるところへは取り付けないでください また、水の侵入を防ぐため 配線出口は 上向き以外の方向で取付してください

EDLCdynamite は車種専用ではありませんので 本体の車両への取付方法は お客様にて工夫して取付をお願いします

外径寸法は 45Φ、長さ 136.5mm（配線は含まず）両端中央に M6 ネジ穴有り、配線長は本体出口より 約 750mm、重量約 380g です

商品には取り付けのためのブラケット等は付属しません

本体のみになります

EDLCdynamite は初期充電専用回路を設けています

赤（プラス）、黒（マイナス）の太い配線のほかに橙の細い配線が有り 合計 3 本として います 橙（プラス）の細い配線が初期充電専用の回路になります （プラス側配線は 2 本のヒューズホルダー配線を丸端子 1 個にまとめています）

EDLCdynamite の結線方法

車両のバッテリーマイナス端子を外しますが バッテリーのマイナス端子を外す前に、車両取扱説明書またはディーラー等で外し方を確認してください。車両搭載装置に影響が有る場合があります EDLCdynamite のヒューズ（2 個）をヒューズホルダーから抜きます（ヒューズはホルダーに固く刺さっています おそらく手で抜くことは難しいと思います）ので ペンチまたはプライヤー等の工具を使用して怪我に注意して抜いてください

ヒューズホルダーのついている配線 2 本をバッテリーのプラス端子に接続します その後バッテリーのマイナス端子と EDLCdynamite の黒をバッテリーのマイナス端子に取り付けます この状態で橙の細い配線のヒューズ（10A）をヒューズホルダーに挿しこみます これで初期充電が始まりました このまま約 15 分間放置すると 初期充電がほぼ完了しますので 赤の太い配線側のヒューズ（20A）をヒューズホルダーに差し込みます これで取り付けは完了です この状態で使用してください

EDLCdynamite 取り外し方法

ヒューズを 2 個ともヒューズホルダー抜いてから EDLCdynamite の配線（3 本）をすべてをバッテリーから外してください EDLCdynamite の保管は ヒューズをヒューズホルダーから抜いたまま保管してください 抜いたヒューズはなくさないように保管してください もしくは 電球等で完全放電させて保管してください（出荷時の状態です）

注意事項

バッテリー交換時や 車載電子機器が誤作動してリセット目的でバッテリーのマイナス端子を外す場合 このような場合でも EDLCdynamite から電気をしばらくの間供給しますので バッテリー交換時や、マイナス端子を外して車載電子機器をリセットする場合は 必ず、ヒューズ（2 個）をヒューズホルダーから抜いてから バッテリーのマイナス端子を外すとか バッテリーを交換する作業を行ってください バッテリー充電時もヒューズ（2 個とも）取り外して充電してください

バッテリー交換や電装品リセット、充電の後 再装着する場合は EDLCdynamite の結線方法にしたがい再装着してください

バイクの場合 乗らない時はバッテリーのマイナス端子を外して保管される方もお見えになると思います このような場合マイナス端子を外す前にヒューズ 2 個を抜き 再装着時は EDLCdynamite の結線方法にしたがって装着して頂くことになりますが このような使用方法は 下記（注意）の理由で想定しておりません

（注意）

ヒューズホルダーやヒューズは 車両電子機器の保護やショート時の発熱、火災などを防ぐ為の物で ヒューズを頻繁に脱着を繰り返すような使い方を想定しておりません

ヒューズの脱着を繰り返すとヒューズ、ヒューズホルダーが破損する場合も有りますので脱着は必要最小限にしてください ヒューズ交換時は 元の容量（アンペア数）で交換してください

ヒューズホルダー破損の場合は交換は可能ですが 配線の長さが少し短くなります
この交換作業は有料で対応させていただきます

〒491-0917

愛知県一宮市昭和 2-16-13

ワイエスディー（YSD）

営業時間 11:00～17:00

定休日 毎週木、金曜日

TEL 080-7844-3245

mail info@ysd-e.jp